

# 1200MHz帯の移動運用

de JA1RIZ

2 mや4 3 0バンドまでは何とか飛ぶが、1200 はねー、と自分は思っていました。

しかしながら、JCC や JCG を追っかけている人達は、意外に 1200MHz 帯のウオントッドが強いことを知りました。それなら、1200MHz のサービスをやってみよう、ということになった訳です。

装備は、は初め ANT : 3BAND コーリニヤ形(1200MHz ≒ 10.0dBi)、その後は 1 8 E L × 2 列八木形 (G ≒ 20dBi)そして移動用ポール(7 m程度)、ケーブルは 8D-SFA・10m、更にトランシーバ・外付けプリアンプ等である。

平地 ⇄ 平地の場合、見通し距離の関係からか、コーリニヤ形の時は交信ができる離隔距離は 40～50km、そして八木ビームアンテナを使うと 100km 超は飛んでくれた。

全般的に言って、電波の見通し外距離であっても結構飛んでくれるという感想です。伝搬路の途中の遮へいの状況にもよるのですが高い山岳等が無ければ意外に飛んでくれるようだという事です。実績の一例は次のとおりです。

## 1 2 0 0 M H z 帯の伝搬

\* 1 km未満四捨五入

地 点	伝搬距離 (km)	見通し距離 (km)
千葉・神崎町～三鷹市	7 9	5 1
茨城・川内町～三鷹市	7 2	5 1
茨城・神栖市～三鷹市	1 0 1	4 8

これらの伝搬路には市街地などの建物はありますが、山岳などの目立った遮へい物はありません。今後は、波長の短い電波では反射波が有効的とも言われているのでそれらも有効に利用し、数百 k m くらいの距離を飛ばしたり、かつ、山岳等の遮へい物が存在するときの伝搬状況などのデータも集めてみたいと思っています。

そんなことを考えながらの移動運用も面白いものです。 (完)